

前期セミナー等のアンケート結果



セミナー通信

教育実習総合センター

教職大学院生さんの情報誌

- ・授業実践開発コース
- ・生徒指導実践開発コース
- ・小学校教員養成特別コース

「セミナー通信」に高い関心!

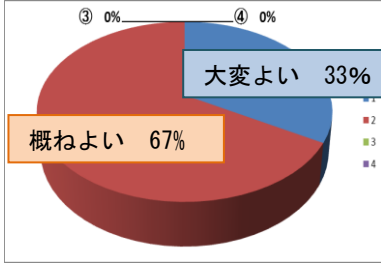
後期、及び次年度セミナーの工夫・改善を図るため、小コース生対象の前期セミナー調査を実施した。その結果は？
(P2生は実習中のため、今月末集約。他コース生は聞き取り調査を予定)

P3生

P3生の出席率は、あまり良いとはいえない。その理由は「日程の重なり」や「教採猶予者の不参加」という事情に加え、「内容にあまり魅力を感じない(21%)」「内容が実感できなかった(12%)」との回答もあり、今後考察していきたい。

「セミナー」とは言い、「教採サポート」の評価は極めて高かった。面談内容や指導方法に改善を加え、面談のコマ数を増やしたことや、多くのセンター職員が面談に関わり、院生の個人ニーズに直接応えられたことが要因と考えられる。

セミナー通信の評価



P1 大変良い 31%
概ね良い 69%

「多岐にわたった」等、肯定的な意見が多かった。また、P3生だけに聞いただけの春教壇に立つ者として、どんなことを



理科 「科学する心」を学ぶ

「保護者の対応力」の順であった。後期に入り、昨年度評価の高かった外部講師招聘セミナーとして「国語」の教科指導を取り上げ、出席率は低迷したが、その要因として、「インターンシップ」や「特許取得講座」と開催日が重なったことが判明した。しかし、参加者は珍しい実験を体感し、「すごい」「自信ができた」と感嘆の声をあげながら、「た」など、大変意欲的な感想が聞かれた。

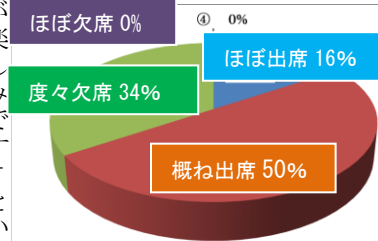


低学年「説明文」を学ぶ

P1生

「現場の先生の苦勞が実感できた」と好評を得た。また、「セミナー通信」に対する特記事項では、「様々な情報や記事が読める」「記事が面白かった」という声も多かった。また、「P1生は例年以上に高かった」という声も多かった。特に「西脇小学校訪問」や「外部講師の講演」では、「公立小学校の現場が理解できた」とか、「普段聞かない校種の異なる教育者の話に感銘した」との声が多かった。また、「小学校現場の喫緊課題を取りあげたコーディネーターの講義について、学校現場の実際の話が聞けた」とも、「学校の現場の実際の話が聞けた」とも、

前期セミナー出席状況



「現場の先生の苦勞が実感できた」と好評を得た。また、「セミナー通信」に対する特記事項では、「様々な情報や記事が読める」「記事が面白かった」という声も多かった。また、「P1生は例年以上に高かった」という声も多かった。特に「西脇小学校訪問」や「外部講師の講演」では、「公立小学校の現場が理解できた」とか、「普段聞かない校種の異なる教育者の話に感銘した」との声が多かった。また、「小学校現場の喫緊課題を取りあげたコーディネーターの講義について、学校現場の実際の話が聞けた」とも、「学校の現場の実際の話が聞けた」とも、

「今、教採対策で何をすれば…」

「書くこと」はPISA型学力の重要な要素である。授業の準備や、授業の振り返り、授業の改善など、書くことは、授業の質を高めるために不可欠である。また、書くことは、自分の考えを整理し、明確にするための手段としても有効である。したがって、教採対策として、書くことを重視することが求められる。

新編集委員の抱負

ママ院生です。十数年ぶりの学生生活を送っています。この活動が、将来教師として「何がしたいのか」「何がしたいのか」考えを深めていけるよい場だと感じ、編集委員に立候補しました。



坂本真理子さん

先生方や皆さんとお話することで、新しい自分を見つめたいと思います。いろいろお話ししたいと思います。

昨年、JAの広報誌担当者として勤務していた経験を活かしたいと考え、編集委員に立候補しました。JA在職中は、「読者の立場に立って取材すること」を肝に命じていました。



清友祥太さん

初仕事として、11月8日に参加できない人のため「大部小学校の学び」を、読みやすい文章を駆使してお伝えしたいと思います。

私は水族館や動物園の飼育員を養成する専門学校で働いていました。国内外の山や海、森で様々な動物と出会う機会を求めて、自然の不思議さや神話を体験しました。編集委員として、教育分野の「？」が「！」に変えられるように様々な情報を提供していきます。



城 智律さん

後期編集委員6人が決定。P2生は内井佑花さん。内井さんは、今、附属小で実習中のため、今回はP1生3人、P3生2人の新編集委員に、自己紹介を兼ねて抱負を語ってもらいました。

縁あって、編集委員に携わることになりました。私は、これまで2年間の社会人経験を経て、本大学院で学び、来年度から郷里の静岡県で教壇に立つ予定です。様々な経験を企業、情成思協の通信で活かせると思います。ご協力をお願いいたします。



甲賀翔太さん

幸福度全国NO1を誇る福井県出身です。来春からは、兵庫県の教員に仲間入りします。最近は、専らテニスにダンス、マラソンと、体力づくりにも励んでいます。



瀧 綾さん

「編集委員として、教育分野の「？」が「！」に変えられるように様々な情報を提供していきます。」

小野市立大部小学校を訪問

11月8日、小野市立大部小学校で開催された「PISA型読解力を育む学びの創造」と題した研究会に、P3生3名が参加した。最初の公開は、算盤を活用した「パチパチタイム」。



1年

具体物の教材に感心!

後期は、上記7人の精鋭が揃いました。「船頭多くして、船山に登る」と言われたいよう、相互の連携を密にして進めていきたいと思います。

編集後記

最後に小コースP2生の皆さん、「実地研究」を頑張ってください。(甲賀翔太)



表現豊かに英語劇を披露